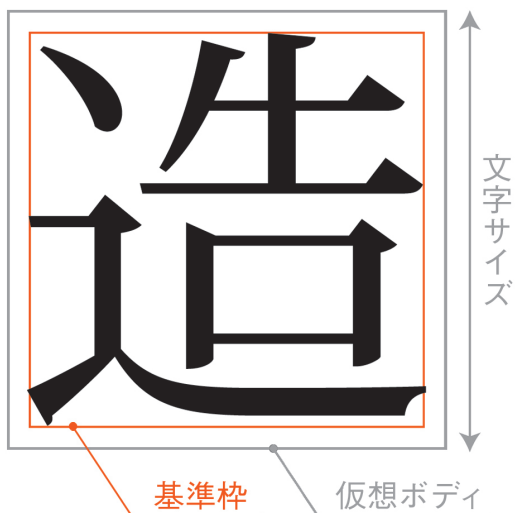


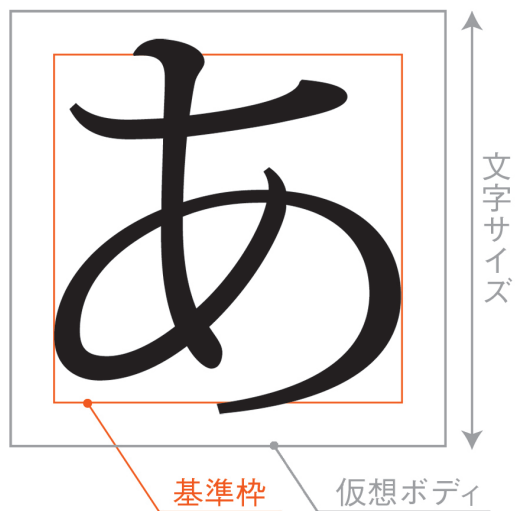


# 基準枠

きじゅんわく



漢字を設計する際の基準枠



仮名を設計する際の基準枠

(通常は、漢字よりも小さめに設計されます。)

## 概要

基準枠とは、書体の仮想ボディの内側に作られた枠のことで、この枠内に書体はデザインされています。

基準枠はそのスペースいっぱい文字を作ればよいということではなく、それぞれの文字のプロポーショナルを考慮して、基準枠からやや小さめに設計したり、多少はみ出したりすることがあります。例えば「国」という文字と「今」という文字を同じように基準枠いっぱい接するように作ってしまうと、「国」の方が大きく見えてしまいます。同じ書体の中では全ての文字が同じ大きさに見えるようにするのが基本ですから、この場合「国」を若干基準枠より小さく設計する必要があります。同じ理由で、漢字の「体」などの「はらい」の部分だけを基準枠から少しはみ出させて設計し、見かけの大きさを揃えるといった調整も必要です。また、仮名は漢字よりも大きく見えてしまうため、普通は漢字よりも小さい基準枠で設計されます。

このように基準枠は、その書体の実際の見かけの大きさを決めるための基準となるもので、書体デザインの考えを反映する大きな要素になります。したがって、仮想ボディは JIS 規格で統一されていますが、基準枠はメーカーや書体で多少異なります。